

特定非営利活動法人日本放射線腫瘍学研究機構 (NPO-JROSG)

2013年度 第1回理事会議事録

1. 開催日時：2013年7月27日(土) 10:00~11:40
2. 開催場所：東京女子医科大学病院 総合外来センター 中会議室(5階)
3. 出席者(委任状) 理事13名 監事2名
理事：三橋 紀夫理事長、秋元 哲夫副理事長、小口 正彦副理事長、加賀美 芳和、古平 毅、鹿間 直人、高橋 健夫、戸板 孝文、永田 靖、西村 恭昌、早川 和重、播磨 洋子、前林 勝也
監事：池田 恢、山下 孝
オブザーバー：小川 和彦

※敬称略 五十音順

4. 審議事項

- (1) 第一号議案 議長ならびに議事録署名人の選任
- (2) 第二号議案 庶務報告
- (3) 第三号議案 会費の納入状況
- (4) 第四号議案 現在進行中の臨床試験
- (5) 第五号議案 2012年度事業報告
- (6) 第六号議案 2012年度会計報告ならびに監査報告
- (7) 第七号議案 2013年度事業計画
- (8) 第八号議案 2013年度予算
- (9) 第九号議案 各種委員会報告
- (10) 第十号議案 理事ならびに監事の改選
- (11) 第十一号議案 その他

5. 議事の経過の概要及び議決の結果

- (1) 第一号議案 議長ならびに議事録署名人の選任
議長に三橋理事長、議事録署名人に小口副理事長、加賀美理事を選任した。
- (2) 第二号議案 庶務報告
 - ・ 正会員 256名、賛助会員 15社、2012年度個人会員入会者 17名、賛助会員入会 2社(メルクセローノ株式会社：2012/10/30、プリストル・マイヤーズ株式会社：2013/6/17)、個人会員退会者 7名(うち除名 1名)、賛助会員退会 1社(プリストル・マイヤーズ株式会社：2012/10/30)であることが報告された。
 - ・ 参加施設数は 90施設で 2011年度より 6施設増と報告された。
(入会：鳥取県立中央病院、埼玉医科大学総合医療センター、宮城県立がんセンター、山口大学医学部附属病院、社会医療法人厚生会 木沢記念病院、愛知医科大学、静岡県立静岡がんセンター、聖隷三方原病院 / 退会：会津中央病院、佐久総合病院)

- ・ バナー広告は 6 社で前年度と比べて増減なしと報告された。
- (3) 第三号議案 会費の納入状況
- 定款第 9 条 (3) に基づき 3 年以上会費未納の 1 名を退会としたことが報告された。
- (4) 第四号議案 現在進行中の臨床試験
- ・ 現在進行中の臨床試験が報告された。
 - ・ 臨床試験一覧のうち「中止となった臨床試験」については、今後ホームページには掲載しないことが承認された。
 - ・ JROSG05-2 の試験中止が承認された。
- (5) 第五号議案 2012 年度事業報告
- ・ JROSG 05-2、05-5、10-1、10-3、10-4、11-1、12-1 の臨床試験の実施と援助
 - ・ JROSG10-2、12-2 のプロトコール審査
 - ・ ホームページ改定と更新の実施
 - ・ JASTRO/JROSG 共同編集 臨床放射線腫瘍学の出版
 - ・ JROSG 会員に対する海外出張支援事業 (2 回実施、2 名に出張支援実施)
 - ・ 理事会ならびに各委員会の開催
 - ・ 研究会の特別講演の企画
- 以上の報告が行われた。
- (6) 第六号議案 2012 年度会計報告ならびに監査報告
- ・ 理事長より 2012 年度収支決算について説明が、また山下監事より監査報告が行われ承認された。
 - ・ メディカルトリビューン社代表取締役社長以下、社員より、過去に行われた元社員による不適切会計処理の経緯報告と謝罪が行われた。
- (7) 第七号議案 2013 年度事業計画案
- 1) 下記の事業計画が承認された。
- ・ 臨床試験の立案、実施ならびに援助
 - ・ ホームページの更新ならびに広報に関する項目の充実・更新
 - ・ 会員のために、放射線療法の最新知識について資料公開:ASTRO/ESTRO 報告 (ホームページ)
 - ・ がん診療連携拠点病院:放射線腫瘍医の講習会の共催
 - ・ 会員のために、放射線療法の臨床試験の手引き作成
 - ・ 一般の方々のために、放射線療法に関する講演会資料の公開 (ホームページ)
 - ・ 会員に対する海外出張支援事業 (春、秋の年 2 回を予定)
 - ・ 理事会ならびに各種委員会の開催
 - ・ 研究会などにおける特別講演の企画

2) 日本人の頭頸部癌患者における Cetuximab を含む治療の観察研究 (JROSG12-2) について、下記が承認された。

- ・ メルクセローノ株式会社と臨床研究に関する契約を結ぶこととする
- ・ JROSG 正会員が在籍している事を参加施設の条件とする
- ・ 正会員不在の施設の場合は入会を依頼する
- ・ 放射線腫瘍医が担当することを原則とする
- ・ 各施設には 1 症例登録毎に 7 万円を支払う
- ・ 会員から、自身の施設が JROSG 参加施設かどうか確認の問い合わせがあった際には JROSG 事務局にて対応を行う
- ・ 参加施設の選定基準は変えない (放射線治療装置の無い施設は参加施設として認めない)

(8) 第八号議案 2013 年度予算案

通常予算案並びに特別会計予算案について説明があり承認された。

(9) 第九号議案 各種委員会報告

【運営委員会】

- ・ メール配信、ホームページ更新、海外出張支援事業、「臨床放射線腫瘍学」出版、研究会での特別講演の企画、理事・監事選挙を行なったことが報告された。

【教育・広報委員会】

- ・ 特になし。

【臨床試験審査委員会】

- ・ JROSG 10-2 (肛門扁平上皮癌に対する 5FU+MMC 同時併用化学放射線療法 of 臨床第 II 相試験) が本理事会で審議され承認された。
- ・ JROSG 12-2 (日本人の頭頸部癌患者における Cetuximab を含む治療の観察研究) プロトコールが本理事会で審議され承認された。
- ・ プロトコール番号について、会計年度と合わせ 6 月末を区切りとして番号を付ける旨が報告された。

【効果・安全性評価委員会】

- ・ JROSG 10-1、JROSG10-4、JROSG12-1 が改訂承認されたことが報告された。
- ・ 「JROSG10-1 安全性に関する報告書」に基づき JROSG10-1 の症例登録継続を審査し、症例登録継続承認としたことが報告された。
- ・ 効果・安全性評価委員会細則の改訂が承認された。

【施設選定委員会】

参加施設一覧の確認を行った。施設担当者が不在で新規入会を依頼しても返答の無い施設への対応について、今後検討することが確認された。

【脳・神経系腫瘍委員会】

- ・ GBM 症例の短期照射法の有用性に関する臨床試験と脳転移の定位照射の臨床試験を、単施設あるいは少数施設でパイロット的に行っていることが報告された。

【肺・縦隔腫瘍委員会】

- ・ JROSG07-1 が試験中止となったことが報告された。
- ・ JROSG 10-1 の進捗状況が報告された。
- ・ JMTO PC-30 について、プロトコルを検討中であることが報告された。
- ・ I 期小細胞肺癌に対する定位照射の調査研究について、今回の会議で決定予定である旨が報告された。
- ・ III 期非小細胞肺癌に対する CBDCA+Nab-pTX+RT の I 相試験について、プロトコルを提案予定である旨が報告された。
- ・ 年 3 回のグループ会議は 11 月の肺癌学会、4 月の日本医学放射線学会、7 月の JROSG 総会・研究会の際に開催予定であることが報告された。

【泌尿器腫瘍委員会】

- ・ 「前立腺癌術後 PSA 再燃（再発）に対する救済放射線治療及びアジュバンド術後放射線治療に関する調査研究」について、学会発表が終わり論文投稿中であることが報告された。
- ・ 「膀胱癌に対する放射線照射後の予後に関する調査研究」について、学会発表が終わり論文作成中であることが報告された。
- ・ 「前立腺癌放射線治療における抗凝固薬、抗血小板薬の内服症例の直腸出血の頻度の研究」について、グループ内で詳細なプロトコルを作成中であることが報告された。

【頭頸部腫瘍委員会】

- ・ 原発不明癌の調査研究について、学会発表が終わり、論文化について準備中であることが報告された。
- ・ JROSG10-3 について、現在 2 例の症例登録があることが報告された。
- ・ 頭頸部癌照射野内再発症例に対する再照射に関する調査研究について、今年度 JASTRO への演題登録を行ったことと、次年度 ASTRO へ演題登録予定である旨が報告された。また現在 64 例の症例協力があることが報告された。
- ・ 久保田 誠司先生の委員会への参加が承認された。
- ・ 茂木 厚先生が QOL アンケートの実施を希望している為、委員会内で詳細を確認・検討予定である旨が報告された。

【乳腺腫瘍委員】

- ・ 特になし。

【悪性リンパ腫・血液腫瘍委員会】

- ・ International Lymphoma Radiation Oncology Group (ILROG) との共同教育・研究活動について、悪性リンパ腫・血液腫瘍委員会が施設会員として登録する際にかかる年 20 数万円の参加費用を JROSG が負担することが承認された。
- ・ 造血幹細胞移植前処置としての全身照射の対象疾患および照射方法の全国調査および晩期有害事象の前向き調査を企画している旨が報告された。

【消化器腫瘍委員会】

- ・ JROSG05-2 の中止が本理事会で承認された旨が報告された。
- ・ JROSG10-2 が本理事会で承認された旨が報告された。
- ・ JROSG12-2 について、3 症例が登録されている旨が報告された。
- ・ 食道癌に対する（化学）放射線療法の治療成績施設間較差に関する研究について、前回調査から 5 年経過後の調査を行った所 10 施設から回答があり、施設により成績に差があることが確認された。結果は本年の JASTRO にて報告の予定である旨が報告された。
- ・ 西村委員長が委員長を退任し、新委員長には小川 和彦先生が就任することが報告された。

【婦人科腫瘍委員会】

- ・ JROSG10-4 について、2013/5/13 に参加を呼び掛けるメール配信を行ったが施設追加登録は無く、現在の登録数は 9 施設、54 症例である旨が報告された。
- ・ 子宮頸癌治療後の QOL に関する全国調査-放射線療法群と手術療法群の比較-について、現在まで 95 例の登録があり、第 25 回 JASTRO 学術集会並びに日本婦人科腫瘍学会学術講演会にて予備的結果が報告された旨が報告された。
- ・ 午後から開催される部位別専門委員会にて徳丸 直郎先生より術後調査の調査研究の提案が行われる予定である旨が報告された。

【緩和医療委員会】

- ・ JROSG11-1 について、現在 7 例の登録がある旨が報告された。
- ・ 日本緩和医療学会の「患者・家族のためのがん疼痛治療ガイドライン」の作業部会部員について、永倉 久泰先生が担当されているが、今後、作業量が増えた場合は緩和グループメンバーで作業を分担する予定であることが報告された。

【小児腫瘍委員会】

- ・ 三橋理事長より、正木委員長退任後も副島先生を中心に積極的に参加いただきたい旨が述べられた。

【その他】

- ・ 部位別専門委員会に関して三橋理事長より、次年度から以下を総会で研究事業報告として報告するのが望ましいとの意見があった。

- 1) 調査研究一覧
- 2) JROSG の名前の入った論文
- 3) JROSG の名前の入った学会報告

(10) 第十号議案 理事ならびに監事の改選

- ・ 9名から理事立候補があり承認された。

鹿間 直人 埼玉医科大学国際医療センター放射線腫瘍科

古平 毅 愛知がんセンター中央病院放射線治療部

永田 靖 広島大学大学院医歯薬学総合研究科

播磨 洋子 関西医科大学附属滝井病院放射線科

高橋 健夫 埼玉医科大学総合医療センター放射線腫瘍科

前林 勝也 東京女子医科大学医学部放射線腫瘍学教室

秋元 哲夫 国立がん研究センター東病院

加賀美 芳和 昭和大学医学部放射線医学

小川 和彦 大阪大学医学部放射線医学

順不同、敬称略

- ・ 5名の理事推薦があり承認された。

小口 正彦 癌研究会 癌研有明病院

戸板 孝文 琉球大学大学院 医学研究科放射線医学分野

中村 和正 九州大学大学院 臨床放射線科学

宇野 隆 千葉大学大学院 医学研究院 放射線医学

副島 俊典 兵庫県立がんセンター 放射線治療科

順不同、敬称略

- ・ 監事は立候補者がなく、三橋 紀夫理事長に監事就任の内諾を得ている旨が報告され、承認された。また、早川 和重理事が推薦され、承認された。

(11) 第十一号議案 その他

- ・ 三橋理事長より、退任役員への謝辞と理事長退任の挨拶が述べられた。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2013年 10月 1日

議長

三橋 紀夫



議事録署名人

小口 正彦



議事録署名人

加賀美 芳和

